

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	子どもの育ち支援センター新館新築	階数	地上3F
建設地	兵庫県尼崎市若王寺2丁目166-1の	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住専、第2種中高層住	平均居住人員	252 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年12月 予定	評価の実施日	2023年10月25日
敷地面積	3,555 m <sup>2</sup>	作成者	浪江 明弘
建築面積	1,694 m <sup>2</sup>	確認日	2023年10月25日
延床面積	3,000 m <sup>2</sup>	確認者	浪江 明弘



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.8** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.1

**LR のスコア = 3.8**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 総合的に環境性に優れた建物としているが、特にLR1(エネルギー)からLR3(敷地外環境)の環境負荷低減性に関する3つの項目を向上させている。中でもLR1(エネルギー)については大幅省エネルギーを実現することで高い評価を獲得している。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 外皮性能の向上、F☆☆☆☆建材の採用など室内環境の向上に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 維持管理に配慮した設計、天井高の確保等により建物の機能性を高めるとともに、耐震性を向上させ、耐用年数の長い配管材料を採用するなど耐用性・信頼性に配慮している。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 敷地内の既存樹木を保存するとともに、じゅうぶんな緑地を確保している。
<b>LR1 エネルギー</b> 外皮性能の向上と、高効率設備機器の採用により大幅な省エネルギーを実現している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 自動水栓、節水便器やリサイクル建材を導入し省資源に取り組みとともに、将来の部材再利用可能性向上にも配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 運用時のCO <sub>2</sub> 排出量を大幅に削減することにより、地球温暖化の抑制に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される